

家庭用及びこれに類する電気機器の安全性—
 第 2-27 部：紫外線及び赤外線による
 皮膚照射用装置の個別要求事項

正 誤 票

区分	位 置	誤	正
本体	7.12	— 目を保護していないと表面炎症を生じることもある。また、ある場合には、例えば、白内障手術の後では、過度の暴露の後に、網膜にダメージを与えることもある。	— 目を保護していないと表面炎症を生じることもある。また、ある場合には、例えば、白内障手術の後では、過度の暴露の後に、網膜にダメージを与えることもある。繰返しの暴露の後に白内障が生じることもある。
	19.2	通常の使用状態で開けられるふたをもつ機器は、ふたを閉じた状態で試験する。ただし、制御装置が非可触のときを除く。	通常の使用状態で開けられるふたをもつ機器は、ふたを閉じた状態で試験する。
	21.102	負荷を取り去った後、機器は、この規格、特に 29.1 に…。	負荷を取り去った後、機器は、この規格、特に 29.1 に…。
	22.110	制御器は、暴露中に使用者が容易にアクセス可能であり、触れたり見たりすることで容易に識別できなければならない。	制御器は、暴露中に使用者が容易にアクセス可能であり、触れたり見たりすることで容易に識別できなければならない。 適否は、目視検査によって判定する。
	32.101	機器は、定格電圧を加えて、…。放射照度は、推奨された最短暴露距離で測定する。 ----- 各波長の実効放射照度は、図 101 に示した UV 作用曲線から計算する。 ----- — 波長が 320 nm から 400 nm は、0.15 W/m ² 備考 4. 総実効放射照度は、次の式によって与えられる。	機器は、定格電圧を加えて、…。放射照度は、最も高い放射を記録する位置に測定器を置き、推奨された最短暴露距離で測定する。 ----- 各波長の実効放射照度は、図 101 に示した非メラノーマ皮膚がん作用曲線から計算する。 ----- — 波長が 320 nm から 400 nm は、0.15 W/m ² 業務用専用の機器は、図 101 の非メラノーマ皮膚がん作用曲線に従って重み付けを行い、総実効放射照度が 1 W/m ² 以下でなければならない。 備考 4. 総実効放射照度は、次の式によって与えられる。

区分	位置	誤	正
本体	図 101	<p>----- : 非メラノーマ作用曲線</p> <p>備考 2. 非メラノーマ作用曲線及び…。</p>	<p>----- : 非メラノーマ皮膚がん作用曲線</p> <p>備考 2. 非メラノーマ皮膚がん作用曲線及び…。</p>
附属書	BB.2	<p>分類 UV 機器は、次のうちいずれかのタイプに分類できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> - UV タイプ 1 機器 - UV タイプ 2 機器 - UV タイプ 3 機器 - UV タイプ 4 機器 - UV タイプ 5 機器 	<p>分類 UV 機器は、次のうちいずれかのタイプに分類できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> - UV タイプ 1 機器 - UV タイプ 2 機器 - UV タイプ 3 機器 - UV タイプ 4 機器 - UV タイプ 5 機器 <p>備考 101. UV タイプ 1 機器, UV タイプ 2 機器, UV タイプ 4 機器及び UV タイプ 5 機器は、日焼けサロン、美容院及び類似の店内で、適切な訓練を受けた人の監視の下で使用することを意図している。それらは家庭用を意図していない。</p> <p>UV タイプ 3 機器は、家庭用及び類似の使用用途に適しており、熟練を要しない人によって使用される。</p>

平成 18 年 7 月 3 日作成